

2. 観点別評価規準案

観 点		評 価 規 準 (①②③④...本文のパート番号 ●...全体を通しての規準)
関心・意欲・ 態度		<ul style="list-style-type: none"> ●本文の朗読など、適切な音量で発話・朗読しようと努めている。 ●本文の内容を理解し、筆者の気持ちをくみ取ろうと努めている。 ●内容の展開を理解しながら読み、読んだ内容について意見や感想を述べようとしている。
表現 の 能力	話す こと	<ul style="list-style-type: none"> ●本文の内容に関する英問に英語で答えることができる。 ●英語でいろいろな質問をすることができ、また質問に対して必要な情報を答えることができる。 ●自身が思う日本の良い部分をグループやペア同士で情報を共有し合うことができる。
	書く こと	<ul style="list-style-type: none"> ●本文の内容を英語で要約して書くことができる。 ●後置修飾、不定詞、現在完了形の文法表現を用いた英文を書くことができる。 ●英語でいろいろな質問文を作ることができ、また質問文を読んで、必要な情報を含んだ答えを書くことができる。
理解 の 能力	聴く こと	<ul style="list-style-type: none"> ●本文の英文を聴いて、その内容を理解することができる。 ●英問 (Q) や True or False? の英文を聴いて、その内容を理解できる。 ①後置修飾を用いた英文を聴いて、その内容を理解できる。 ②不定詞を用いた英文を聴いて、その内容を理解できる。
	読む こと	<ul style="list-style-type: none"> ●各パートの最初の内容に関するQの答えを探しながら読むことができる。 ●本文の内容を正確に理解することができる。 ●本文の内容に関する英問を正確に理解できる。 ①マリリアが述べる日本のコンビニについての意見を汲みとる。 ②アンドリューが述べる朝の体操についての思いを理解する。

授業計画案と観点別評価規準案を
テキストデータで掲載しました。